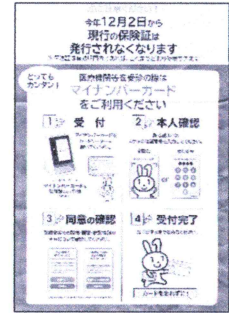




マイナンバーカードの取得 保険証との紐付けは任意

8月から

の国保の保
険証と共に、
マイナンバー
カードの取得を



すすめる案内が同封されてきました。国民の信頼も利便性もないマイナンバーカードの利用率が上がらないことに業を煮やした国が自治体に送付させたものです。

●送られてきた保険証はそのまま有効期限まで利用できます。(国保は来年の7月末) 困ることはありません。

●マイナンバーカードを持たない、もしくは保険証を紐付けしていない方には来年からは「資格確認書」が送付されます。保険証代わりに、困ることはありません。

現行の保険証を月一回提出で何も困ることはないし、暗証番号・認証と毎回機械に通さないと病院が受診出来ないほうが高齢者などには負担です。現場の混乱が予想されています。

保険証の廃止に反対です

公共施設再配置(更新素案)地区説明会参加(その2)

城東中・大浜中の地区説明会に参加しました。

●人口がどんどん減っていく、特に周辺地域の人口減が止まらない中で、「人もいない、お金も無いのだから学校ももっと統合したらいい。財政的にも施設も減らすのは当然」という意見が出る一方で、「人口減を食い止めるための努力こそ大事。」「周辺でも住める、たとえば税金は安くなるよとかの周辺に住むとお得な施策を」といった提案も。

●施設が減って遠くなれば、そこまで行く手段が必要。交通アクセスは重要。

●施設が安全・安心が第一。修繕できなければ休館も考えられる。

●公会堂だけでなく、地区管理の防災センターや公民館などもある

が、これらはどうなるのか、という質問も出ました。市管理でないと枠外ですが、拠点になり得る施設です。再編時にいっしょに考えていければの回答も。

●施設は安全・安心が第一。修繕できなければ休館も考えられる。

掛川の出生数は亡くなる方の半分程度。将来推計でも子どもの数は減り続ける。子育て支援策とともに、インフラも含め住民の力を借りて地域を守るまちづくりに公共の力が使われるべき時だと思えます。

戦争をする国づくりの一方 女性への米軍暴行事件は 沖縄県へ報告もせず隠ぺい

集団的自衛権を容認し、いざとなれば米軍の指揮下で戦闘行為に参加する自衛隊には「賭命義務」があるのだそうです。命をかけて相手の命を奪う軍隊としての性格を強めている自衛隊。

7月号の広報には「平和の仕事」として募集が載っていましたが、平和の仕事という言葉に私は違和感があります。ハラメントやいじめの体質も問題になっています。

安保と不平等な地位協定。沖縄での女性への相次ぐ暴行事件が県に報告もされず隠ぺいされていました。米軍犯罪を裁けない、自国の女性の人権を守れない。何より国民一人一人の人権を守るのが国の役目だと思います。

猫の問題の現場をまわり

不妊去勢手術が必要な現場や猫が次々捨てられる場所、多頭飼育現場など回りました。看板や防犯カメラ、照明など必要と思われるところなど確認し、担当課に要望。

野良猫を増やさないためには助成制度の見直しが必要ですが、猫の捕獲や手術につながるお手伝いもさせてもらいました。ふらっと来た猫が子猫を産んで困った時に市役所に連絡しても、「餌をやらないで。保健所に相談して(つまり殺処分を頼めということ)」と言われるだけ。このような現実の中で、ボランティアは小さな命を守るため奮闘しています。



予約した不妊手術を待つ保護した猫たち

べらぼうに暑い日々に、外にいるとクラクラします。広報に告知があったクリーニングシエルトや、省エネエアコンの補助だけではないとはどう思いませんか。



命を守るため、困窮世帯へのエアコン設置支援や電気代支援が本来に必要だと思います。